

平成 30 年度大子特別支援学校教育計画

本県の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し
- 豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり
- たくましい心を養う
- 郷土を愛し
- 協力しあう心を育てる

いばらき教育プラン基本方針 H28~H32

- 1 社会全体による子どもたちの自主性・自立性の育成
- 2 確かな学力の習得と活用する力の育成
- 3 生涯にわたる学習と文化芸術、スポーツ活動の推進
- 4 誰もが安心して学べる教育環境づくり

本県の学校教育推進の柱

- 1 確かな学力を育む教育の推進
- 2 豊かな心を育む教育の推進
- 3 健やかな体を育む教育の推進
- 4 時代の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進
- 5 自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進

本県の目指す教師像

- 1 人間性豊かな教師
- 2 活力に満ちた教師
- 3 指導力のある教師
- 4 子どもの気持ちを理解できる教師

特別支援学校における教育の充実




- 1 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の一層の充実
- 2 学校教育全体を通じたキャリア教育の推進
- 3 幼児児童生徒の相互理解を深めるための交流及び共同学習の推進
- 4 地域における特別支援教育のセンターとしての役割の充実

(1) 目指す学校像

テーマ：自立と社会参加を目指して
“根っこ”を強くするチーム学校
みんなが共に育つあたたかい学校

- 児童生徒の可能性を伸ばし、主体的に活動する力（自分で考えて行動できる力）を育てる学校
- 地域に根ざし、地域から信頼される学校
- 確かめ合い協働する学校

具現化のための 3 つの柱

-  魅力ある授業
-  安全・安心な教育環境
-  地域との連携

(2) 教育方針

目指す児童生徒像

- ① なかよく元気な子
- ② よく学び、自分からすすんで行う子
- ③ 力を合わせて働く子

目指す教師像

- ① 活力ある教師
- ② 専門性と指導力のある教師
- ③ 思いやりがあり感動する心を大切にする教師

教育目標

インクルーシブ教育システムの理念を踏まえて、児童生徒が自己のもつ能力や可能性を伸ばすとともに、一人一人の「生きる力」を培い、将来の自立と社会参加を目指す。

重点目標（魅力ある授業）

- ① 健やかな体と豊かな心を育むための、スポーツ・芸術文化活動や交流活動を推進する。
- ② 一人一人の教育的ニーズに応じた自立活動の指導の充実を図る。
- ③ キャリア教育を推進し、発達段階に合わせた主体的・対話的な深い学びを追求する。

具体的な取り組み

① 健やかな体と豊かな心を育むためのスポーツ・芸術文化活動や交流活動の推進

🍎 体育・音楽，図工美術の教科指導や部活動指導の充実

- 本物に触れる活動
- 対外試合等への積極的参加

🍎 道徳の教科化に向けた実践

- 教科等における道徳教育を意識した取り組み
- 様々な形でのボランティア活動

🍎 顔の見える交流活動の継続発展的な実施

- 近隣の幼保小中高施設等との交流活動

② 一人一人の教育的ニーズに応じた自立活動の指導の充実

🍎 一人一人の実態の的確な把握

- RPDCA サイクルに基づく自立活動の指導に関する教員の専門性の向上
- 手順シートの活用と指導計画の作成。実態把握に基づいた指導上外せないポイントの共有

🍎 アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善

- 形式にとらわれない驚きと感動のある授業展開の工夫
(分かりやすい板書の工夫，考えや活動を引き出す発問，手立て，支援内容検討・工夫，子どもの意欲を高める目標の設定と個別目標に即した評価方法の工夫・改善，ICT の有効な活用等)

🍎 研究・研修の充実

- 事例研究における専門家の助言とその研究成果を生かした授業づくり
- 全ての児童生徒に自立活動（個別指導）の時間を確保
- 障害の重度・重複・多様化に対応した授業づくり
- 自立活動の指導と関連を図った各教科等の指導の工夫・改善

③ キャリア教育の推進，発達段階に合わせた主体的・対話的な深い学び（アクティブ・ラーニング）の追求

🍎 小学部からのキャリア教育の推進：特別支援教育の視点から，

- 発達段階に応じた「手をかける→目をかける→心にかかる」教育の推進
- 中学部卒業後の進路選択に向けた体験的学習の推進等進路指導の充実
- 他校中学部や高等部との情報交換や交流学習の推進

🍎 地域・家庭との連携・協働による社会に開かれた教育課程の編成の推進

- 地域資源，小規模校の強みを生かした一人一人の可能性を伸ばす学習活動（校外学習や修学旅行を含む）の実践

(3) 経営方針 TEAM DAIGO (🍏 安全・安心な教育環境, 🍏 地域との連携)

< 基本姿勢 > → 具合的な取り組み

🍏 使命感と情熱をもち、見えないところを大事にする。

- 「子どもたちのために」を考え、行動する。
- あたかな挨拶・美しい環境づくり（4S：整理・整頓・清潔・清掃）の実践
- 児童生徒や保護者の気持ちを理解してより添い、主体的な取り組みにつながるよう支援する。
→ 行動の背景に心を寄せ、傾聴し受け止め後押しする

🍏 一人一人の可能性を伸ばすために、教職員自らがチャレンジ精神をもつ。

- 児童生徒・保護者・教職員一人一人を大切に、全教職員がチームとなって自立と社会参加を目指す教育を推進する。
→ 挑戦する気持ちを引き出す安心感とチャンスの創出

🍏 地域に根ざした学校づくりと児童生徒が地域で生きる生活づくりを地域社会や関係機関との連携と協働のもとに推進する。

- 地域や関係機関と「子どもたちのために」という思いを共有し連携を強化する。
→ 地域の学校等との交流活動による顔の見える関係づくりの継続・発展
→ ニーズの掘り起こしを含めたセンター的機能の強化
- 効果的な情報発信に努める。
→ ホームページや各種広報活動の工夫

< 重点目標（中期的目標を踏まえて） > → 具体的な取り組み

🍏 子どもの可能性を伸ばす、信頼される学校

- 特別支援教育の専門性の向上
→ 個別の総合教育支援計画に基づいた将来の自立と社会参加を見据えた指導の展開
→ 学習内容表の見直し改善
- 支援ツールの有効活用による授業づくりの工夫
→ ICT 機器の効果的な活用のための先進校視察及びプログラミング教育の体験型研修
→ TV 会議システム等の活用による双方向情報交換（交流学习等）の試み
- 家庭・地域・関係機関との連携強化
→ 家庭・地域・関係機関と連携した山林火災や獣害などを含む危機管理体制の整備（合同避難訓練の実施、福祉避難所開設訓練等の実施）と防災教育の推進
→ 児童生徒による JRC 活動等ボランティア活動の継続・発展

🍏 認め合い・確かめ合い・高め合う協働するチーム学校

- コンプライアンス推進のためのボトムアップ研修の推進
→ グループワークを取り入れたコミュニケーション力の向上
- 協働性を高めることによる、校務のスリム化・焦点化の推進
→ 先輩から後輩への教育観（思い）や知識・技術・感覚等の経験知のリリース
→ OJT 研修の推進
→ 得意分野を生かした DAIGO-N プロジェクトによる（危機管理等）学校課題への取り組み